

第26回 山梨県介護老人保健施設大会抄録用紙

演題	そうだ、花見に行こう！
副題	コロナ禍を経験し、外出レクは変革した

フリガナ	カイゴロウジンホケンシセツ タマホケアセンター
施設名	介護老人保健施設 玉穂ケアセンター
フリガナ	カイゴシ オヤマダ カヨリ
発表者(職名・氏名)	介護士 小山田 かをり
フリガナ	ツウショリハビリテーションシヨクインイチドウ
共同研究者	通所リハビリテーション職員一同

【はじめに】

2019年12月に一例目の新型コロナウイルス感染者が報告され、その後日本でも感染が広がり、医療崩壊を防ぐため大規模に行動制限などの対策がなされた。

当通所リハビリテーションでも、ご利用者様、職員を問わず外食や、遠方への移動の制限が実施された。

【目的】

コロナ禍でも感染症対策を施しながら毎日のレクとは別に、毎月様々なイベント的レクを提供してこられたことを記録として残し、アフターコロナの外出レクを考える。

【方法】

コロナ禍前は、外食・ショッピングレク、幼稚園児による慰問レクが季節ごとに開催されていたが、2020年からは感染対策としてそれらのレクはことごとく中止となった一方コロナに負けず、ご利用者様の意欲や笑顔を引き出せるようデイケア独自に毎月イベントレクを企画運営し続けたことを、書類や画像に残し、職員間で共有する。

【例】

2022年のイベントレクの画像によるまとめ。

2023年4月のお花見外出レクの実施計画と当日の画像。

【結果】

- ・2022年のイベントレクでは、感染対策を第一に考え、マスク、消毒、アクリル板の設置などを徹底しながら、ほとんどが施設内であったが実施できた。
- ・2022年4月に一度だけ開催されたデイケア全体の、外出レクではソーシャルディスタンスを施し、ご利用者様どうしの交流はあまりなかった。
- ・2023年3月にマスク着用が個人の判断に任せられ、卒業式や入学式がコロナ禍前に戻りつつあることを受け、マスク、消毒などの感染対策はそのままに、アフターコロナを意識した「お花見」外出レクを企画実施できた。

【まとめ】

- ・コロナ禍でも、感染対策を実施しながらイベント的レクを実施し続けることができ、記録を残し、次のレクに活かすことができた。
- ・今年の「お花見」レクでは、久しぶりの施設外での活動だったため、不穏になり、水分、食事を全く摂らないご利用者様もいたため、支援方法を考えるとともに安全安心なレクを提供する必要があることがわかった。
- ・コロナ禍を経験した今、コロナ後の新しい日常を築いて行くのも、私たちの役目であると実感した。